

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金） 事後評価書

平成29年11月24日

計画の名称	1 鎌倉市下水道防災事業計画（防災・安全）																
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）					交付対象	鎌倉市										
計画の目標	鎌倉市内における重要な下水道施設の地震対策及び老朽施設の延命化を行うことにより、非常時においても持続的利用を可能とし、市民が安心して暮らせる安全な下水道の構築を目指す。																
計画の成果目標（定量的指標）	① 重要な管渠の地震対策実施率を23%（H23）から44%（H27）に増加させる。 ② 鎌倉処理区における処理場・ポンプ場の機械・電気施設（中分類）の改築率を42%（H23）から100%（H27）に増加させる。 ⑤ 七里ガ浜下水道終末処理場の管理棟における耐震化事業を耐震化達成率0%（H23）から45.4%（H27）に増加させる。																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値	備考					
											当初現況値 （H23当初）		中間目標値 （H25末）	最終目標値 （H27末）			
① 重要な污水管渠の地震対策実施率 可とう継手設置済み人孔箇所数（基）／可とう継手設置が必要な人孔総数（基）											23.0%	36.0%	44%				
② 鎌倉処理区における老朽化した処理場・ポンプ場の機械・電気施設改築率 改築完了済みの機械・電気施設数（中分類）／改築予定（耐用年数経過）の機械・電気施設数（中分類）											42%	88%	100%				
⑤ 七里ガ浜下水道終末処理場管理棟における耐震化達成率 耐震化延床面積（㎡）／耐震化必要延床面積（㎡）											0%	10%	45.4%				
全体事業費	合計 （A+B+C）	635百万円	A	635百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C）		0.0%						
<b>事後評価</b>																	
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期											
学識経験者等の第三者により構成された鎌倉市社会資本総合整備計画事後評価委員会を設置し、評価指標の実現状況及び今後の方針等について意見を求めた。						平成29年10月 公表の方法 市のホームページに掲載											
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
鎌倉処理区																	
1-A1-3	下水道	一般	鎌倉市	直接	—	污水	改築	鎌倉処理区污水管渠耐震化事業	可とう継手設置 280箇所、 污水管更生 φ200～400mm、L=1,500m	鎌倉市	■	■	■	■	■	72	
1-A1-4	下水道	一般	鎌倉市	直接	—	処理場	改築	七里ガ浜下水道終末処理場耐震化事業	七里ガ浜処理場B系列 診断、詳細設計、耐震化	鎌倉市						0	
1-A1-5	下水道	一般	鎌倉市	直接	—	ポンプ場	改築	污水中継ポンプ場長寿命化事業 4箇所	極楽寺、東部、南部、七里ガ浜ポンプ 場第2の長寿命化計画策定、改築更新	鎌倉市			■	■	■	306	
1-A1-6	下水道	一般	鎌倉市	直接	—	污水	改築	鎌倉処理区污水管渠長寿命化事業	鎌倉処理区污水管渠長寿命化計画 策定 長寿命化工事	鎌倉市			■	■	■	31	
大船処理区																	
1-A1-7	下水道	一般	鎌倉市	直接	—	污水	改築	大船処理区污水管渠耐震化事業	可とう継手設置 90箇所	鎌倉市	■	■	■	■	■	62	
1-A1-8	下水道	一般	鎌倉市	直接	—	処理場	改築	山崎下水道終末処理場長寿命化事業	山崎処理場 焼却設備、汚泥処理 設備 長寿命化計画策定、詳細設計、長 寿命化工事	鎌倉市				■	■	164	
小計（下水道事業）											635						
合計											635						

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		① 耐震化工事により、一部の緊急輸送路等において耐震性が強化された。 ② 鎌倉処理区の処理場、ポンプ場の改築及び長寿命化事業により、処理機能の維持が図られた。 ⑤ 耐震診断の実施により、七里ガ浜下水道終末処理場の管理棟における耐震性が把握できた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（重要な 污水管渠の地震 対策実施率）	最終目標値	44%	目標値と実績値 に差が出た要因	平成25年度に優先順位の見直しなど耐震化事業の再考を行い、事業の進捗に遅れが生じたため。
		最終実績値	39.7%		
	指標②（鎌倉処 理区の処理場・ ポンプ場の機 械・電気施設の 改築率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標⑤（七里ガ 浜下水道終末処 理場の管理棟に おける耐震化達 成率）	最終目標値	45.4%	目標値と実績値 に差が出た要因	平成26年度に社会資本整備総合交付金から移行。 設備の耐震化工事を行う場合、処理能力の低下等が生じることから、影響を最小限に抑える工法や対策が必要である。その検討に時間を要することから、計画期間内での実施は見送った。
		最終実績値	10%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		鎌倉処理区の緊急輸送路等において、老朽化したマンホール蓋の交換を行い安全性を高めた。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
① 緊急輸送路等に埋設された重要な污水管渠の耐震化工事を継続していく。 ② 鎌倉処理区の七里ガ浜下水道終末処理場、ポンプ場の改築更新を完了したため、今後は、大船処理区の山崎下水道終末処理場の改築を進める。 ③ 鎌倉市下水道総合地震対策計画に基づき、処理機能を停止させない工法等を選定し耐震化工事を実施していく。					

(参考図面) 社会資本総合整備計画

